



平田 要

「能勢町の歌」を活かした まちづくり

問 昭和41年に町歌が制作された目的を問う。

答 町制10周年記念事業の一環として、能勢町をよく言い表し、希望と温かみのある歌というコンセプトの下、歌詞の募集を行い、制作された。

問 郷土愛と町発展の為に作られた町歌をどの様に広められてきたのか、また職員、住民の認知度を問う。

答 過去には町主催の運動会での演奏や、周年事業など町の記念式典の資料に掲載をし、成人式において斉唱を行っていたところであるが、認知度は高いとは言えない状況である。

問 職員に対して認知度を高めることについて問う。

答 職員入庁時に町の花、町章など説明し触れている、町歌も検討していく。

問 防災行政無線の試験放送に町歌をメロディーとして流し住民の方に町歌を知っていただくことについて問う。

答 啓発の手法と考えるが、現在のところ考えていない。

問 町歌を活かしたプロモーション動画等による町ホームページからの発信の考えについて問う。

答 プロモーション動画などの制作予定はない。

が、引き続き本町への誇りや郷土愛の醸成、多くの方々に親しまれるよう、記念式典やホームページなどを活用して周知をしていく。

問 能勢の情景を映し出し「能勢町の歌」の字幕とメロディーにより遠く郷里を離れた方が能勢を思い出されることにより、ふるさと納税に繋がると考えるが。

答 町のホームページに町の木、町の花、町の歌、音源についても可能かと考える。ふるさと納税に繋がることでもあり、検討していく。



一般質問



井上 加奈子

家計急変世帯の給付金申請状況について

問 臨時特別給付金の家計急変世帯による申請と受給、広報の状況について問う。

答 町報に5回掲載、新聞折込、HP掲載により周知し、家計急変の4世帯から申請された。電力等価格高騰緊急支援給付金については町報12月号に案内を折込み周知を図り、現在順次給付を行っている。

問 全ての対象世帯に給付金の案内と申請書類を送ってはどうか。

答 施策はニュースにも出ており、広報もしているが申請数は一桁台前半にとどまっている。費用対効果を考え、現状の判断をしている。

子どもの学びと成長を支えるために

問 高校生の通学費助成について見解を問う。

答 高校生を含む住民の移動手段を確保するため、バス事業者に対して補助金を交付し、路線の運行維持に努めている。また豊中高校能勢分校等と連携し、e-bikeを活用した通学について実証試験に取り組んでいる。

問 子育て支援や定住促進の観点から、高校生に対して通学費助成をする自治体が増えているがどう考えるか。

答 「高校生の学びと成長を支えるために」は構築しにくい。即断に補助するということは考えていない。

高校生の通学支援について

問 基礎学力の定着に向けて令和5年度に向けて検討していることを問う。

答 前期課程では読むこと、書くことの領域、後期課程では書くことの領域に課題が見られる。今後の指導の重点は2点。「基礎的な知識、技能の定着」と「情報を読み取り、論理的に考え、表現する指導の充実」である。

